

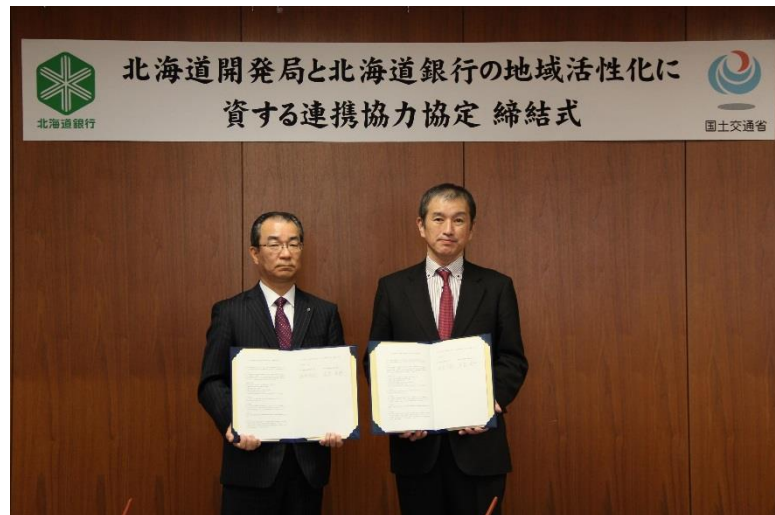


北海道開発局と北海道銀行は、北海道の地域社会への貢献という共通の目標の下、相互の強みやネットワークを相乗的に活用し、より効果的な取組を進めるに当たり、緊密かつ組織的な連携・協力体制の構築のための協定を平成30年3月27日に締結しました。

① 「北海道総合開発計画」では、北海道の強みである「食」や「観光」を戦略的産業とし、これら北海道の強みを提供する地域を「生産空間」と位置付けています。北海道開発局は、食料基地としての持続的発展、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成のため、食と観光を担う「生産空間」を支える取組を重点的に進めることとし、平成29年度からは、名寄、十勝南、釧路沿岸の3圏域をモデルに北海道型地域構造(生産空間)の保持のための検討を開始しました。

② 北海道銀行は、地方創生に積極的に貢献すべく、中期経営計画『BEST for the Region』において、少子高齢化や都市部への人口流出など地方における経済縮小が現実味を帯びつつある状況下において、金融サービスの提供によるお客さまと地域社会への貢献を通じて、地域と共に環境変化に打ち勝ち、成長・発展していくことを目指しています。

連携協力協定の締結により、緊密かつ組織的な連携・協力体制を構築することで、食と観光を担う「生産空間」を支える取組を推進します。



株式会社北海道銀行
頭取 笹原 晶博

- ❖ 地域の発展の取組を更に浸透させるために、より強固な関係が必要。
- ❖ 弊行においても、「食」と「観光」を北海道の成長産業と位置づけ、積極的に振興を図っており、お互いに向かう方向は一致している。
- ❖ 協定の締結を契機に検討会に参加し、ネットワークや経験をぜひ活用していきたい。
- ❖ 「食」と「観光」は、農産物の販路拡大、6次産業化、新規就農、後継者の育成や外国人観光客の受入環境のためのツールの紹介など今まで培ってきたノウハウを活用。
- ❖ 地方創生は、地方銀行としての使命と考えており、しっかりとその役割を果たしていきたい。



国土交通省
北海道開発局
局長 和泉 晶裕

- ① 「食」と「観光」を戦略産業とし、「世界の北海道」を目指す。
- ② 特に「食」は、北海道の地方部で多く生産、市区町村別の平均所得ランキングで100位以内に5町村がランクインしており、非常に元気な地域。
- ③ この様な地域を持続的に発展させていくために「生産空間」の取組を進めていく。
- ④ これら取組を進めていくためには、北海道銀行さんを始めとする民間企業など様々な皆様とパートナーシップを組んで生産空間の維持発展に取り組む必要。
- ⑤ 北海道銀行さんのノウハウを活かしながら、更に強力に進めていきたい。